

# 第1回 北上川水系(北上川上流)流域治水協議会

- 令和2年9月16日、北上川上流域(岩手県内)の関係自治体が一堂に会し、北上川水系(北上川上流)流域治水協議会を設立、同日開催。
- 気候変動による水害の頻発化、激甚化などの水害リスクの増大に備えるため、あらゆる関係者が協働し、流域治水対策に取り組んでいくことを確認。
- 令和3年3月末までに、流域内の各市町、県、国が行う流域治水対策を「北上川流域治水プロジェクト」にとりまとめて公表し、対策を推進。

日時: 令和2年9月16日(水)15:00～  
場所: 岩手河川国道事務所 2F大会議室  
出席者: 一関市長、滝沢市長、雫石町長、  
紫波町長、矢巾町長  
他流域市町関係者(4市4町)  
岩手県  
北上川ダム統合管理事務所  
岩手河川国道事務所

約40名

## ●協議会開催状況



※新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、WEB方式併用、マスク着用、消毒、換気を徹底して開催。

○岩手河川国道事務所 平井 所長

- ・気候変動による水害の激甚化や頻発化が懸念され、施設能力を上回る洪水が「いつ」、「どこで」発生しても、おかしくない状況。
- ・あらゆる関係者が協働し、流域全体で防災・減災に取り組むため協力を頂きながら進めていきたい。



## ●協議会で出された意見等



かつべ おさむ

○一関市長 勝部 修

- ・洪水時には上流から流木が流れてくる。山林関係者の参画について調整いただければと思っている。



しゅはま りょう

○滝沢市長 主濱 了

- ・各市町内にある避難所が本当に安全な場所なのかという再点検など細かいところも含めて取り組んで行ければと考えている。

○岩手県 県土整備部  
中平部長

岩手県の抱える山間部の中小河川におけるモデルとして、小本川(岩泉町)の「山間部の流域治水」の取組を紹介

